

安全データシート

エクスカット25%・SFL(主剤)

整理番号:XC-004

改定:2023年4月1日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	エクスカット25%・SFL
推奨用途	動物用医薬品
会社情報	
製造販売元・発売元	
会社名	株式会社科学飼料研究所
住所	東京都中央区八丁堀三丁目3番5号
担当部署	薬事部 安全管理課
電話番号	03-6478-2555
FAX番号	03-6478-2390

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入:蒸気)	区分1
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性) 区分1(中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(気道)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入すると生命に危険
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
中枢神経系の障害
長期にわたる又は反復ばく露による気道の障害
水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
使用後は手指等を水でよく洗い、うがいをする。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

特別な処置が必要である（このラベルの4.応急措置を見よ）。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすぐのこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していく容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
口をすぐのこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則ること。
情報なし

国/地域情報

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別

混合溶解製品

組成及び成分情報

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
グルタラール (グルタルアルデヒド)	25.0%	OHC(CH ₂) ₃ CHO	(2)-509	公表	111-30-8

4. 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合:

数分間気を付けて洗浄する。もしコンタクトレンズを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当を受ける必要がある。

飲み込んだ場合:

口をすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤:

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性:

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法:

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の保護具及び予防措置:

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装置を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項:

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和:

利用可能な情報はない

二次災害の防止策:

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落させ衝撃を与える又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管:

安全な保管条件

保管条件 : 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 : ポリエチレン製気密容器

混触禁止物質 : 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	:屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
ばく露限界(グルタルアルデヒド)	
日本産業衛生学会	:許容濃度 0.03ppm
管理濃度 作業環境評価基準	:設定されていない
米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)	:許容濃度 0.05ppm (activated and inactivated)
保護具	
呼吸器用保護具	:有機ガス用防毒マスク
手の保護具	:不浸透性保護手袋
眼の保護具	:側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	:長袖作業衣
適切な衛生対策	:産業衛生及び安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色	:無色～淡黄色
濁度	:澄明
性状	:液体
臭い	:特異臭
融点／凝固点	:データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:データなし
可燃性	:データなし
蒸発速度	:データなし
燃焼性(固体、ガス)	:データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
上限	:データなし
下限	:データなし
引火点	:データなし
自然発火点	:データなし
分解温度	:データなし
pH	:2.5～4.0
粘度(粘性率)	:データなし
動粘性率	:データなし
溶解度	:水、エタノール、アセトンに極めて溶けやすい
n-オクタノール／水分配係数	:データなし
蒸気圧	:データなし
密度及び／又は相対密度	:データなし
相対ガス密度	:データなし
粒子特性	:データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性	:データなし
化学的安定性	:光により変質するおそれがある
危険有害反応可能性	:通常の処理ではない
避けるべき条件	:高温と直射日光
混触危険物質	:強酸化剤
危険有害な分解生成物	:一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

(グルタルアルデヒド)

急性毒性:

経口 LD ₅₀	183 mg/kg	(rat)
経皮 LD ₅₀	1,430 mg/kg	(rabbit)
吸入 LC ₅₀	40.1 ppm	(rat)

12. 環境影響情報

(グルタルアルデヒド)

生態毒性:

藻類／水生植物	N/A
魚	N/A
甲殻類	EC ₅₀ 0.75mg/L 48h(オオミジンコ)
残留性・分解性	:利用可能な情報はない
生体蓄積性	:利用可能な情報はない
土壤中の移動性	:利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	:利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装:

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

国連番号	UN3389
品名	Toxic by inhalation liquid, corrosive, n.o.s. (Glutaraldehyde Solution)
国連分類	6.1
副次危険性	8
容器等級	I
海洋汚染物質	該当

IMDG(海上)

国連番号	UN3389
品名	Toxic by inhalation liquid, corrosive, n.o.s. (Glutaraldehyde Solution)
国連分類	6.1
副次危険性	8
容器等級	I
海洋汚染物質	該当

MARPOL73/78やIBCコードに
則ったバルクの輸送

IATA(航空)	禁止
国連番号	UN3389
品名	Toxic by inhalation liquid, corrosive, n.o.s. (Glutaraldehyde Solution)
国連分類	6.1
副次危険性	8
容器等級	—
環境有害物質	該当

15. 適用法令

薬機法	:動物用医薬品(劇薬)
労働安全衛生法	:変異原性が認められた化学物質等
危険物船舶運送及び貯蔵規則	:毒物類・毒物(危険則第3条 危険物告示 別表第1)
航空法	:輸送禁止(施行規則第194条)
海洋汚染防止法	:有害液体物質(Y類物質)(溶状、濃度50重量%以下のもの)(施行令 別表第1)
化学物質排出把握管理促進法	:第一種指定化学物質
大気汚染防止法	:有害大気汚染物質

16. その他の情報

参考文献 原料メーカーの安全データシート

その他の情報

本データシートに示した情報は、我々の知る限り、作成した時点で正確なものです。なお、本剤は動物用医薬品としての使用上の注意(一般的注意、使用者に対する注意、対象動物に対する注意、取扱い上の注意、保管上の注意、その他の注意)が定められていますので、直接包材(又は添付文書)の記載事項を良くお読みの上ご使用ください。記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。